

＜公開シンポジウム＞ 「自然共生型農業の理論と技術

～持続可能な耕作放棄地の活用で地域農業を活性化する～

概要

コロナ禍で外国人技能実習生の入国や農産物の輸入が制限されるようになり、国内での持続可能な農産物生産は今後増々重要になってきます。一方で茨城県内の耕作放棄地面積は全国2位の21,120 haもあるにもかかわらず、新規就農者が耕作放棄地を借りても技術不足等で安定した栽培ができず、農地はあるのに十分に活用できていません。そこで、経験年数の浅い農家や有機農業に関心のある方むけに大学の研究等で培った環境保全型農業技術の理論と実践について紹介をします。

登壇者

- 小松崎将一（茨城大学農学部国際フィールド農学センター）
- 金子信博（福島大学食農学類）
- 涌井義郎（NPO 法人あした有機農園）
- 三木孝昭（公財）自然農法国際研究開発センター

現場紹介

- 松井眞一（日本農業実践学園有機専攻担当）
- 松浦江里（茨城大学農学部国際フィールド農学センター）

開催日：2020年11月15日13～17時

会場：日本農業実践学園（+オンライン開催）

主催：茨城大学農学部国際フィールド農学センター
（茨城大学地域研究・地域連携プロジェクト）

協賛：NPO 法人あしたを拓く有機農園，日本農業実践学園，クックパッド

参加費：無料（実践学園会場は定員30名（県内からのみ）

オンライン参加者は人数制限なし

参加申し込み：QRコードか、以下のリンクより受付ます。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=Ew0yHonCO0GKuRRvQf_3052pRpBaXB5Pr-zqpR01gDJUNzMzUk1HUTgzR1VRM0pQOVm4UTgyU1QyNS4u



申し込み締め切り：11月14日（金）17：00まで

問い合わせ先：

茨城大学農学部国際フィールド農学センター（TEL:029-888-8695 松浦）